# 平成 23・24・25 年度　常磐西小学校づくりビジョン

| 学校教育目標：　学び合い、かかわり合い、ともに育つ子ども | |
|---|---|
| 《めざす学校の姿》<br>○ 楽しい学校<br>・子どもが輝く学校<br>・職員が輝く学校<br>○ 家庭，地域と協働する学校 | 《めざす子どもの姿》<br>○ よく考える子（確かな学力）<br>○ 人を思いやる子（豊かな人間性）<br>○ 健やかな子（健康・体力）<br>○ ともに生きる子（コミュニケーション力） |

＜重点目標＞

1　確かな学力の育成

**○「学び合い」のある授業づくり**

①「学び合い」を深める学級集団づくりを進めるとともに、主体的な「学び合い」を生み出す課題設定、学習形態を工夫する。

②知識・技能を活用する力を育成する授業，子ども同士が学びあう協働的な学習形態を取り入れた問題解決・課題探求型の授業を充実させる。

③　授業公開による教職員同士の学びあい，各種研修会への参加や先進校視察、外部講師の招聘により研修を深める。

**○　基礎・基本の定着と指導方法の工夫・改善**

①　指導体制（チームティーチングや少人数授業、個別指導など）や指導方法（補充的な学習、興味・関心・理解の程度に応じた課題学習、発展的な学習、反復学習など)、学習形態（グループ学習、個別学習など）を効果的に仕組み、個に応じた指導の充実を図る。

②　基礎・基本を定着させるための取り組みを計画的・系統的に行う。

③　到達度検査を実施し､子どもの課題を明らかにし､指導方法の改善を図る。

④　適切な宿題や課題に取り組ませ、家庭における学習の充実と学習習慣の確立を図る。

2　豊かな人間性の育成

**○　互いを認め合えるなかまづくり**

①　いじめや暴力がなく，なかまがつながりあった学級集団づくりを行う。

②　ちがいを認め合える子どもたちの育成を図る。

**○　人権教育・道徳教育の充実**

①　道徳的実践力を育てる道徳教育を推進する。

②　自他の人権を尊重し人権問題を解決する行動力を育てる人権教育を推進する。

**○　教育相談・特別支援教育の充実**

①　いじめ調査、ＱＵ調査、日常観察などを生かして，児童の課題や悩み等の

早期発見・早期対応を図る。
② 家庭との連絡・連携を密にする。
③ あいさつの励行、規範意識の向上に取り組む。
④ 不登校・いじめ・虐待・発達上の課題等に迅速に対応できる体制を構築する。そのため、教育相談・特別支援教育について校内指導体制を一元化し、スクールカウンセラー・関係機関と連携しながら、必要に応じてケース会議を開くなど迅速で組織的な取り組みを進める。
⑤ 教職員の研修を深め、適切な子ども理解にもとづき支援・指導方法の工夫・改善に努める。

3 健康な心と体の育成

**○ 健康教育・食育の充実とからだづくり、全校遊びの推進**

① 児童が主体的に参加できる全校遊びやからだづくり活動を行う。
② 養護教諭・学校栄養職員・担任が連携し、保健指導、食育の充実を図る。
③ 家庭と連携し，基本的な生活習慣や食習慣の定着を図る。

**○ 安全教育の充実**

① 日常生活に生きる安全教育、訓練を実施する。
② 月一度の安全点検とともに日常的な安全管理・危機管理に留意し、不測の事態の事前防止に努める。

4 特色を活かした教育活動の推進

**○ 地域環境を生かした体験活動の充実**

① 各学年の教育目標に基づき、吉田山をはじめとする地域の環境を活かした体験活動を展開する。
② 保護者や地域の人々と連携し，吉田山の自然観察会や整備作業など「活用・保全活動」を実施する。

**○ 児童が主体的に取り組む児童会活動・学校行事の創造**

①主体的に取り組む過程を重視する。
②個が生き、集団が高まる活動を目指す。

**○ 学習支援ボランティアを活用したきめ細かな教育活動の展開**

＜経営方針＞

○ 子どもを第一に考え、行動する。
○ 子ども理解に基づいた授業づくりを学校経営の中心に据える。
○ 安全で安心できる学校づくりに努める。
○ 絶えず自己の教育活動や校内体制を検証し、改善を図る。
○ 教職員間の「報告・連絡・相談」と組織対応を大切にする。
○ 学校の情報発信に努める。
○ 保幼小中の連携を深める「学びの一体化」を推進する。
○ 教職員自身が資質（専門性と組織性）向上を目指す。
○ 施設設備の改善と教材教具の充実及び活用を図り，学習環境を整える。